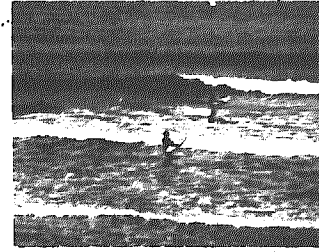


“春”一加速 [間瀬海岸]



“海の季節”を告げるサーファーたち。だが、まだ寒そう……

若者の人気を集めているサーフィン。4月に入り、最高気温も平年より5-7度上回り、5月中旬の陽気となった先月中旬。間瀬海岸では早くも、サーファーがお目見え。確かに“春”を告げていた……

消費者 質問箱

相談は役場商工観光課
(☎824111・内線131)
が県消費生活センター
(☎0252674196)へ。

相談

「ケース①」 セールスマンに、安全で確実だといわれ、香港の金取引に二千万円支払った。何回か取引を重ね、かなりの損になっていく。取引からいっさい手を引きたいと申し出ているが、いっこうに応じない。
「ケース②」 七十七歳の父が、ロンドン市場のガスオイルの先物取引を勧誘され、五十万円支払ってしまった。契約を撤回し五十万円を返してもらいたい。

回答

この数年、海外商品取引による被害が激増しています。三年前くらい前は、香港の大豆、砂糖、金の取引を誘う例が多くありました。ところが最近では、ニューヨークの砂糖、ブラチナ、石油、ロンドンの砂糖、石油、シカゴの大豆、コーン、通貨、さらには、現物取引と説明し実

海外商品取引

取引の意思がないときは、はっきり断る

「上がり込み長時間粘る」
「身の回りの世話、話し相手をして親切を装う」
「もういいです、結構ですとの断りの言葉を、同意したと逆手にとる」
——など、ありとあらゆる手段を駆使しているといつてよいでしょう。

「誘う方法は、無差別な電話、自宅や職場への訪問で、「絶対もうかる」「安全確実な投資」「今がチャンス」などの甘い言葉で誘います。勧誘の手口や甘言には、例えば次のようなものがあります。「ご主人に内緒でもうけてびっくりさせたら」「契約がとれないと帰れない」と泣き落とす。
「悪質な業者やセールスマンが多い」というほか、刻々変わる相場を確認するのが難しい、為替相場も変動する、相場の先行きを予想するための資料が乏しい、などから一般消費者にとっては極めて危険なものです。こうした取引にはどんなに勧められても応じないことが賢明でしょう。また、取引をする意思がない場合は、あいまいな返事をせず、はっきりと断ることが大切です。

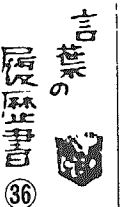
勧誘の手口あれこれ

際は預り証書だけを渡し現物を渡さない、現物まがい取引などが加わり、被害が拡大しています。

法で規制しているがすべてには適用されない

悪質な取引行為は、「海外商品市場における先物取引の受託に関する法律」により規制されていますが、取引市場と商品が指定されており、海外先物取引のすべてが適用されるわけではありません。
ケース①では、何回も交渉し、ようやく手強い（一切の取引をやめること）に迫りましたが、残金の約五百万円が返金されず、弁護士をたてて交渉することになりました。

茶々を入れる



五月は茶摘みの始まる季節。「人が真面目に話をしていのに、茶々を入れないでよ」「など」というときの「茶々」は、もともと飲み物としてのお茶のことでした。
「茶々を入れる」とよく似た言い方に「水をさす」があります。文字どおりの意味は、濃いもの、熱いものに水を加えて薄くしたりぬるくしたりすること。これが比喩的に使われると、うまくいっているのを防ぎたり、じゃましたりして、不調に終わらせるような仕向ける意味になります。
「茶々を入れる」も、ほぼ同じような意味ですが、そのニュアンスには、微妙な違いがあるようです。「茶々を入れる」には、どちらかというと、からかいぎみに、あるいは冗談半分に文句をつけたり、じゃまをするといった意味合いがあります。夏目漱石の「吾輩は猫である」の「あいにく迷亭が来ていて茶々を入れて何が何だか分からなくなってしまうたつたつ」からも、その雰囲気がかげえられます。「一方「水をさす」と言えば、お茶よりずっと冷たい行為になるようです。

今月の納税

■固定資産税 1期
■軽自動車税 全期
※納期限は5月31日

善意をありがとう

●青友会（青年団代表＝阿部清也さん）から、社会福祉のためにと金6,363円のご寄付がありました。

訂正

先月号のおくやみの欄で、竹内金次郎さんの死亡月日が2月17日とあるのは、2月24日の誤りでした お詫びして訂正いたします

おめでた おくやみ

おめでた

氏名	前住所	新住所
鷺沢幹男	和1	和1
(堀田)春美	卷町	横曾根
富沢勇人	横曾根	横曾根
(久須美)葉子	吉田町	横曾根
有坂義行	石瀬	石瀬
(小黑)好美	寺泊町	石瀬
有坂洋子	石瀬	石瀬
(滝澤)敦子	長野県	石瀬

氏名	年齢	死亡年月日	世帯主	住所
石崎 瞳	3・23	勇	岩室	
成田 有子	3・29	秋男	石瀬	
石川 麻子	4・2	幸一	間4	
草野 一理	4・2	正敏	栄	
小松 恵	4・4	明	石瀬	
野田 真美	4・5	克巳	間1	
田中 穂	4・8	国穂	和12	

おくやみ

氏名	年齢	死亡年月日	世帯主	住所
五十嵐伸吉	71	3・26	ハツ	間3
片岡ヒナ	72	3・30	定一	和6
田島スガ	77	4・2	栄治	横曾根
組野徳次郎	84	4・3	秀一	橋本

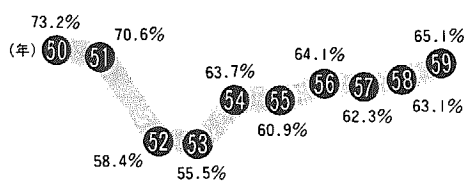
暮らしの健康

新・シリーズ(2)

文責／保健婦

■検査のねらいは…
村で行っている総合検査は、「働きざかりからの脳卒中をなくそう」という目的で毎年実施している、今年で十六年目。十年前から見ると、発症数は減少してきています。去年の場合

■受診状況の移り変わり



■脳卒中発症者の状況



こで健康の確認をしているのでしようか。

■今年の検査は…
総合検査—今年六月五日・六日・七日・十日・十一日の五日間を予定しています。

は生存者と死亡者、合わせて三十二人でした。しかし、脳卒中を発症している人が、その年の検査を受けたか、どうかを確認すると—初めて脳卒中を起こした、という人の七・八割は、検査未受診者という状況でした。

健康づくり

総合検査について

働きざかりからの脳卒中をなくそう



主な検査内容は①循環器疾患 ②糖尿 ③貧血 ④肝臓 ⑤結核 ⑥肺ガンなどの早期発見、早期治療による成人病予防がねらいです。対象は三十歳以上で、職場の検査を受けていない人が、すべて該当になります。